



当社では実証実験より参加しています



外部電源式アイドリングストップ給電システム

CO2排出量を約96%低減!!

ドライバーの仮眠・休憩や、荷待ちなどの際、運転室内の冷暖房のために、やむを得ずエンジンをかけたまま待機するケースがあり、こうしたアイドリングを効果的に抑制することが課題となっています。

本システムは、トラックの運転席に設置する「外部電源式冷暖房装置」駐車場に設置する「給電スタンド」から系統電力を供給して、運転室内の冷暖房を行うもので、エンジンをかけずに冷暖房が行えるため、CO2排出量低減が可能になるとともに、燃料消費コストも低減。当社はこのシステムを利用する実証試験に参加しました。

冷房時

運転席上部にパッケージクーラーを設置し、外部電源から電気を給電する。

暖房時

外部電源より給電した電力により電気毛布や暖房器具を利用する。

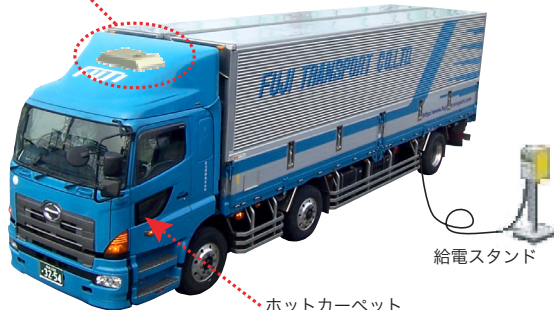


アイドリング時に比べて『CO2排出量を約96%低減が実現』

環境負荷低減効果及び経済性効果の詳細データ



パッケージクーラー



給電スタンド

車両イメージ

ホットカーペット
電気毛布など



本社乗務員 坂口君

全協 豊田専務理事

10月15日 NHKニュースで放映されました



給電中の当社車両

運送事業者の皆さま

○休憩・休息中の長時間アイドリングによるCO2排出量と燃料代の削減をお考えの方

アイドリングストップで静かで快適な休憩時間を!

しかも経済的!



トラック用駐車場所所有者の皆さま

○駐車場における大型トラックの長時間アイドリングを効果的に抑制したい方

排気ガス・騒音フリーできれいな環境



・トラックステーション
・工場
・物流センター等



2006年6月17日TV神奈川にて放映された、アイドリングストップ社会実証実験のニュースです。